

公表資料表紙

平成 25 年度「英語能力判定テスト」における 中島中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「英語能力判定テスト」を実施いたしました。このテストの目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることにあります。

学習指導要領における中学校英語の目標は、4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を総合的に活用できるコミュニケーション能力の育成と示されております。本テストで測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的 (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
(2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立中学校 全生徒

3 実 施 日
・ 3年生 平成25年10月24日（木）
・ 2年生 平成26年 1月24日（金）
・ 1年生 平成26年 1月24日（金）

4 内 容

学年	テストの種類	テストの難易度	テスト内容		満点スコア
			筆記問題	リスニング問題	
3年	テストD	英検3～5級レベル	50題	30題	460点
2年	テストE	英検4～5級レベル	40題	25題	400点
1年	テストF	英検5級レベル	25題	25題	340点

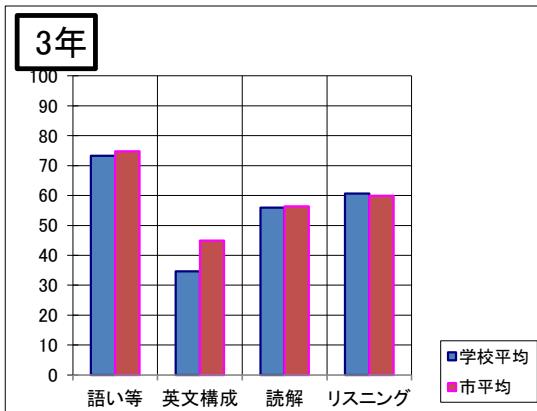
*教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

平成25年度「英語能力判定テスト」結果(分野別正答率)の概要と今後の取組 大阪市立中島中学校

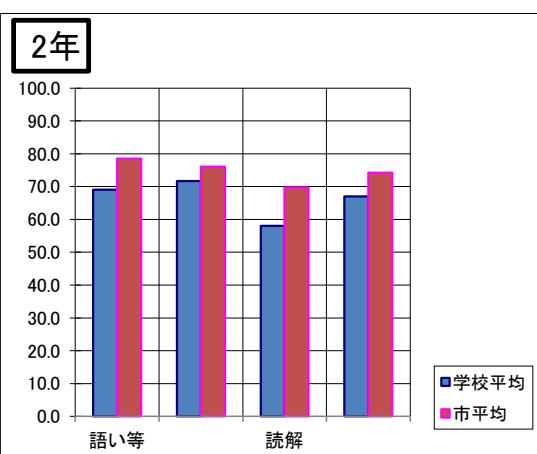
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	73.3	34.6	55.9	60.7
市平均	74.8	44.9	56.4	59.9

(%)



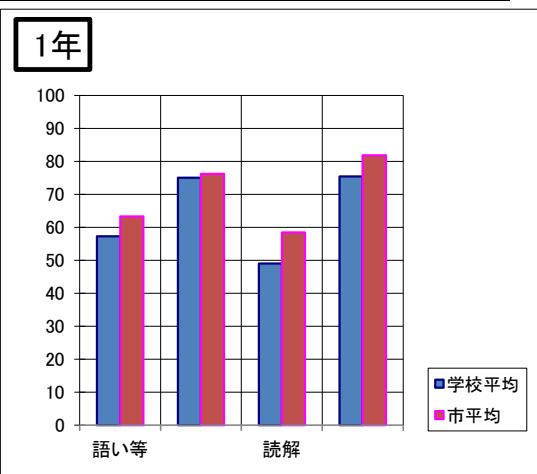
2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	69.0	71.7	58.0	67.0
市平均	78.5	76.1	69.7	74.2

(%)



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	57.3	75.0	49.0	75.4
市平均	63.3	76.2	58.4	81.8

(%)



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年

《結果の概要》

1・2年生と傾向が異なり、語彙力・読解力・リスニング力では大阪市平均同等の高い数値を示しているが、英文構成力の平均正答率は、大阪市平均から約10ポイントの開きがあり、低い数値となっている。

リスニング力については、C-NETを活用した活動を多く取り入れたことが効果的であったと推察される。

《結果をふまえた今後の取組》

長文読解等の学習で、どのような文法で文が構成されているかを考え繰り返し復習することは効果的な学習方法であったと考えているが、英文構成力に関しては、基礎基本を再確認し、徐々に複雑なものにつなげていくことで育成する必要があると考える。

2年

《結果の概要》

どの観点も大阪市平均を下回っている状況ではあるが、特に読解力は大阪市平均から約12ポイントの開きがある。語彙力・英文構成力は、約7割の平均正答率となっており、おむね高い数値を示している。リスニング力も同様に約7割の平均正答率となっており、英語で英語を理解する力が少しずつ身についていることを示している。

《結果をふまえた今後の取組》

これまで、きめ細かく丁寧な語彙・文法等の指導をおこなってきたが、今後も指導を継続し、語彙・文法の基礎学力をベースに、読解力・リスニング力の向上につなげていきたい。また、来年度は小中一貫校にともない、英語教育重点校およびICT活用モデル校となる。その観点から指導方法の工夫改善・学びの充実を進める。

1年

《結果の概要》

どの観点も大阪市平均を下回っている状況ではあるが、特に読解力は大阪市平均から約9ポイントの開きがある。英文構成力は、約8割の平均正答率となっており、おむね高い数値を示している。

《結果をふまえた今後の取組》

これまで、きめ細かく丁寧な語彙・文法等の指導をおこなってきたが、今後も指導を継続し、語彙・文法の基礎学力をベースに、読解力・リスニング力の向上につなげていくことは2年生と同様である。また、英語教育重点校およびICT活用モデル校としての指導方法の工夫改善・学びの充実を進めることも2年生と同様であるが、フォニックスやタブレットPC・電子黒板の活用等、新しい指導方法の研究を積極的に進めていく。